

# 日本の読者の皆様へ

本書は、質的方法について私がこれまで発表してきた論文の中から10編を厳選したものです。このたび日本語訳が完成し、皆様にお読みいただけるようになりましたことを大変うれしく思っています。と申しますのは、私が理解するに、日本の看護研究において質的研究への関心が次第に高まってきているからです。

本書に収録されている論文の多くは、1990年代に書かれたものです。当時のアメリカでは、質的研究に対する関心が看護研究者の間で徐々に高まりつつありました。そのような中で私は、質的研究方法論に関する知識を簡潔に、かつ包括的にまとめようと考えました。ある同僚は、これらの論文を評して「小さな本 (little books)」と表現しましたが、それは、質的方法論にまつわる課題について全体を見通し、最新の研究成果を紹介するものだったからだと思えます。質的分析におけるケース志向性、質的分析の初期段階と量化、サンプリング、逐語録作成とテキストの引用、質的研究における理論の使用と時間の場合、質的記述などに関する専門書や論文がこれまでたくさん書かれてきましたし、これからも書かれることでしょう。しかし、質的に考えることを学び、質的方法を理解し、質的研究で得られた結果を評価するときに、本書はその入門編として皆様のお役に立てることと確信しております。

本書を日本語に翻訳し出版の労をとってくださった谷津裕子教授および江藤裕之教授に心から感謝を申し上げます。お二人がこの仕事を通して日本の質的研究の質を高めよう目指された、その学問的情熱に敬意を表します。本書に収録された論文で私が伝えようとしたことは、言葉の違いを超えて皆様に届くものと信じております。本書は、質的研究という変化に富んだ、そして不思議な魅力のある土地を旅する皆様にとって、最良のガイドブックとなることでしょう。

それではどうぞ良い旅を。

2013年11月

*Margarete Sandelowski*

Margarete Sandelowski, PhD, RN, FAAN  
Cary C. Boshamer Distinguished Professor  
University of North Carolina at Chapel Hill School of Nursing